



半田高校 市議会

令和5年

12月

18日
開催



HandaCity

はんだ市議会

だより

2024年2月1日発行

HEADLINE

- 一般質問、11人が市政を問う!
- 令和5年第7回定例会審議結果
- 議会事業評価提言についての回答
- 総務委員会活動報告



半田市議会広報へ

市政を問う

一般質問?



12月定例会における市政に関する一般質問は、12月5日、6日、7日に行われ、11人の議員が質問に立ちました。各議員の質問と市長を始めとする当局の答弁要旨は次のとおりです。
(質問議員が執筆し、掲載順序は質問順です)

※質問、答弁の詳細は2月中旬頃から半田図書館・亀崎図書館等に設置された会議録でご覧いただけます。また、市議会ホームページにも掲載します。
※その他、議員ごとにYouTubeへ直接アクセスできるQRコードを掲載しています。

設置条件については、市民や自治区からの要望・利用世帯数など総合的に自治区と協議して設置することとしています。プッシュ型としてごみステーションをふた付きに交換していくことに関しては、設置スペースが必要になり、費用もかかることから、自治区と協議の上進めていきたいと考えています。

問
現在、4種類のごみステーションが運用されていますが、どのような条件で設置されていますか。また、ふた付きごみステーションの方が、メリットが大きいと思います。プッシュ型として交換していく等、検討されていますか。

ごみステーションの更新

山本裕介
創造みらい半田



市政を問う

一般質問 (質問議員が執筆しています)



EVステーションの一例

また、水素燃料電池車は環境課へ所管替えを行い、稼働率を高めめます。充電設備については、目標数は定めていませんが、民間による整備が進むように、国からの補助金等を周知します。

問
半田市が保有する公用車のうち、次世代自動車は何台ありますか。また、3カ年実施計画に公用車電動化事業が新規に計画されていますが、3年間で何台増やしていきますか。そして充電設備の拡充は検討されていますか。

ゼロカーボンシティはんだビジョンの進捗

現在行っていますませんが、今後は賠償金を負うリスクなどを説明し、加入確認を行っています。

問
申請時に自転車損害賠償責任保険等への加入を確認していますか。

令和3年度321件、令和4年度399件です。

問
補助金の申請件数は何件ですか。

自転車乗車用ヘルメット着用促進事業補助金

自転車事故における人身事故件数は、令和3年が76件、令和4年が80件となります。

問
半田市の自転車事故件数は何件ですか。

自転車用ヘルメットの着用

國弘秀之
チャレンジはんだ



自転車通学の生徒は全て保険に加入しているものと考えています。しかしながら、実際に加入確認を行っているのは市内5中学校のうち2校のみであったため、その他の学校に対しては、今後、しっかり確認まで行うよう指導助言していきます。

問
自転車通学生徒の自転車損害賠償責任保険への加入状況はどのようですか。

令和4年度は14件です。

問
自転車通学生徒の自転車事故件数は何件ですか。

自転車通学をしている生徒の自転車損害賠償責任保険等への加入



竹内 功治
(創造みらい半田)



半田市の魅力をさらに伝えるための観光施策

問 観光庁によると国内外の宿泊者数がコロナ禍前を上回ったとのことですが、観光の需要が高まっていますが半田市の現状と取組みを伺います。

市内施設の来場者数はコロナ禍前まで回復の見込みです。また、名古屋鉄道が名古屋市を核に新たな観光組織を立ち上げます。半田市も広域連携を行いながら遠方からの誘客を図ります。

問 半田市の食の魅力を活かした新たな取組みを行っていますか。

その土地の気候風土が生んだ食材や伝統など食と旅を楽しむ「ガストロノミーツーリズム」の造成を進めています。例えば地元産の知多和牛と味噌・酢の発酵

調味料、日本酒を使用した料理や醸造工場見学などです。

問 常時、特産の日本酒やカブトビールが試飲購入できる場所を造ってはどうか。

現在は考えていません。

問 アイプラザ半田内の観光案内所は、駅から遠く観光客から分かりにくいです。例えば駅周辺や半田赤レンガ建物などに移す考えはありますか。

現在の場所は最適ではないと考えており、半田市観光協会など関係機関と新たな拠点を協議します。

問 半田市PR大使を増やして広報の充実を図ってはどうか。

最適な著名人が現れた際、大使の任命を検討します。



田中 高久
(創造みらい半田)



安心して暮らし続けられるまちづくり

問 過去3年間の児童扶養手当の受給世帯の推移を教えてください。

令和2年が1千33世帯、令和3年度が95世帯、令和4年度が92世帯と推移しています。

問 ひとり親家庭に対する、一時的な給付金等の支援策が必要だと思えますが見解を教えてください。

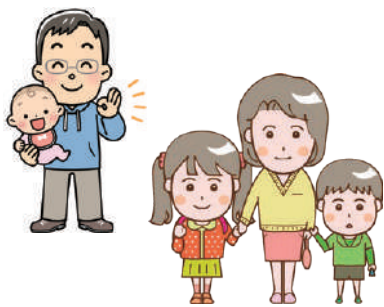
DV等の特別な場合を除き、離婚に伴い一時的にかさむ出費については、ご本人で予め準備してもらうものと考えます。現時点では新たな経済的支援は考えていませんが、引き続き個々の状況に寄り添った支援を行っていきます。

問 ひとり親家庭になる前と後に受けられるサービスの情報発信の状況について教えてください。

ホームページや、ひとり親家庭生活ガイドブックにて発信しています。今後は他機関とも連携して情報を提供していきます。

問 自立生活に向けて2連の流れが分かるようにホームページを充実させる必要があると思いますがいかがでしょうか。

生活ガイドブックを中心に分かりやすいホームページづくりに努め、ひとり親家庭に必要な情報を発信していきます。また、出来るだけ多くの人に知っていただき、一人で悩まれている方へ情報を届けていきます。



坂井 美穂
(公明党)



女性やカップルの将来の妊娠に向けた健康支援

問 女性やカップルの将来の妊娠のための健康管理を提供するプレコンセプションケアをどのように捉えていますか。

未来ある若い男女が早い時期から妊娠や出産の知識を持ち、毎日の生活や健康への意識を高め、自分やパートナーとのライフプランを考えることであり、意義があるものと認識しています。

問 対象となる年齢層への周知が必要であると考えますが、見解を伺います。

プレコンセプションケアの内容について、市ホームページをはじめSNSを活用して周知し、半田市医師会、関係企業や市内学校の

ご意見も伺うなど、効果的な情報発信につながる取組みを行っていきます。

女性の健康支援

問 対象となる年齢層の女性が月経に関する異常、PMS(月経前症候群)、更年期症状・障害の症状を知り、対処できるようにするための情報提供等の支援が必要だと考えますが、見解を伺います。

女性の健康支援及び女性の活躍を推進するにあたっては、ライフステージに応じた適切な情報提供を広く行い、社会全体として支援していく必要があります。多様な機関と連携して女性の健康支援の充実を図っていきます。





麻生七海
（公明党）



全ての人が楽しく遊べる公園の設置

問 既存の公園の利用が困難と思われる方たちに対して、これまでにどのような公園整備を行ってききましたか。

半田市では、「バリアフリー法」の施行を受け国が策定した「都市公園の移動等円滑化整備ガイドライン」や県が制定した「人にやさしい街づくりに関する条例」に基づきバリアフリー、車いす専用駐車場、多機能トイレ等のユニバーサルデザインを取り入れ、高齢者や障がい者の利便性、安全性に配慮してきました。

問 ユニバーサルデザインの遊具、バリアフリーの園路等を配置しインクルーシブ公園の

問 設置を提案しますが見解をお聞かせください。

インクルーシブとは「包括的な」、「包み込む」といった意味を持ち、障がいのある人も健康な人も皆があたり前のように遊んだり、学んだりの生活が出来るようにする仕組みやデザインとして浸透してきた考えです。インクルーシブ公園には明確な定義はありませんが、みんなが楽しめる公園とするためには、ユニバーサルデザインの施設整備に加え、インクルーシブ遊具を備えた広場設置の検討が必要です。今後は、地区公園など大きな公園の整備改修時には、検討に取り入れ、利用される地域の方の意見を伺う中で、全ての人が利用できる魅力的な公園づくりに取り組んでいきます。



名古屋市天白区細口池公園の様子



芳金秀展
（創造みらい半田）



はたらく親を応援するまち

問 小学校放課後居場所づくり事業は、亀崎小学校の建替えに合わせて1か所、また横川小学校の既存の施設を改修して1か所と場所が増え、より多くの児童の居場所ができる事業です。しかしながら、多くなることで今まで児童センター等できめ細かく対応できていた、子どものSOSや変化に気づける機会が減ってしまう可能性もあります。その点についてはどう考えていますか、見解を伺います。

放課後児童クラブの職員や放課後子ども教室のボランティアスタッフの方々に児童福祉の内容も含んだ児童の支援者向けの研修を

受講していただく機会を設けることで、児童福祉の観点もカバーしていきたいと考えています。

問 多子世帯の3歳未満児保育料無償化事業を実施する際、現在でも待機児童が出ている状況であるにも関わらず、申し込みの増加が見込まれます。受け皿となる場所やスタッフはどのような見解を伺います。

場所のもとよりスタッフの確保が重要だと考えておりますので、半田市においては保育士の働きやすさを追求していきたいと考えています。



有留麻由
（無所属）



子どもに関わる現場での包括的性教育を求める

問 文部科学省がすすめる「命の安全教育」は対象が幼児からですが、保育園や幼稚園で、取組みはしていますか。

「命の安全教育」としての取組みは行っていません。絵本の読み聞かせ等で、自分の体を大事にする事の意識付けを行っています。

問 外部講師をよぶ、養護教諭の力を借りるなどをして、包括的性教育を行う事を考えていますか。

包括的性教育は、現在の学習要領の範囲を超えてしまいます。性行為の具体的な方法などもあり、実施については賛否両論があると思われれます。

問 人権を基にした包括的性教育は現代の子どもたちには必要です。見解を伺います。

包括的性教育という名前になじみがなく、必要があるのかは分かりません。

半田市・半田市教育委員会への後援する行事

問 某行事で装甲車が展示される事を知ったうえで、市が後援をしたのはなぜですか。

商店街の応援であり、後援に問題はないと考えます。

問 この後援は、非核、平和都市宣言をしている市の理念に合致しないと考えますが、見解を伺います。

不快な思いをした方もいると言う事をふまえ、主催者側にも伝えていきます。



令和元年には191団体ありましたが、令和5年10月末では166団体と減少傾向にあります。「保険・医療・福祉」分野が48団体、「子ども」の健

問 はんだまちづくりひろばに登録している団体の推移と状況はどのようですか。

様々な団体があり、概ね他の自治体との比較はできませんが、特定非営利活動法人は令和5年4月末現在では、40法人あり、県下で7番目、知多半島では1番多い状況であり、市民活動が盛んなまちであると認識しています。

問 半田市は市民活動団体が多いいわわれていますが、他自治体と比較してどのような状況ですか。

多様な主体の協働による持続可能なまちづくり

鈴木英華
(創造みらい半田)





主体として、若い世代を巻き込みつつ学校、事業者、地域コミュニティ、行政など様々な立場の個人や団体を想定しています。

問 多様な主体と協働する必要があるがどのような主体を想定していますか。

より多くの市民を巻き込むためにも、PRは重要と認識しています。団体同士の交流を推進したり、市報やSNSを活用した情報発信をしています。

問 市民活動団体へどのような支援とPRをしていますか。

全育成」及び「学術・文化・スポーツ」分野が24団体、「まちづくり」分野が21団体となり様々な分野で活動されています。

問 病院関連の駐車場の今後について検討状況を教えてください。

病院に從事している職員

関係部課長にて構成する検討会議と各課監督職で構成する作業部会をそれぞれ年1回の頻度で開催しています。検討状況として、半田病院は、全て解体することを決定しています。さらに、公共施設用地として活用するため、市民にお示しする前に基本構想案を策定します。また、新総合体育館の建設候補地の一つとしての報道があるものの跡地利用方針については、全くの白紙状態です。

問 移転後の跡地利用について検討状況を教えてください。

半田市立半田病院の移転

中村和也
(志民ネット)





現在の半田病院

病児保育施設げんきの芽、保健センター、半田常滑看護専門学校については、現在の場所でも継続して運営していきます。院内保育所、5階建ての旧看護学校、看護師寮、瑞穂町にある康衛公舎は、取り壊した後に売却を予定しています。ただし、げんきの芽については、老朽化していることも考慮して、将来的には移設も視野に検討していきます。

問 その他、病院関連施設の今後について教えてください。

病児保育施設げんきの芽、保健センター、半田常滑看護専門学校については、現在の場所でも継続して運営していきます。

「の駐車場が不要になるため、アイプラザ東側の職員駐車場に全てを集約し、市役所南側にある第2、第3駐車場は将来的に売却を考えています。また、立体駐車場については、半田市に所有権を移し、継続して使用していく考えです。

市が管理する道路に布設されている側溝の延長は784kmで、そのうちの約6割の468kmに蓋が設置されています。

問 側溝の蓋の現状について教えてください。

側溝の蓋の整備状況

問 児童には大谷選手の想いをどのように伝え、グローブを活用していきますか。

大リーガー大谷翔平選手からのグローブの寄贈

伊藤正興
(チャレンジはんだ)





市内には、まだ多くの未整備箇所が残っていることが課題となっています。今後引き続き、国の補助金など財源の確保や更なるコスト削減に努め整備が早期に進むように取組んでいきます。

問 現状の課題と問題点は何ですか。また、今後、どのように整備を進めていきますか。

市内には、まだ多くの未整備箇所が残っていることが課題となっています。

問 側溝の蓋に起因する問い合わせは今年度何件ありましたか。

令和5年11月末現在、133件あり、内訳は修繕に関するものが91件、蓋の新規設置に関するものが42件ありました。

審 議 結 果 令和5年第7回定例会(12月5日～15日)

■全会一致の案件

議案 番号等	議案名 ()内は議案の補足説明です。
64	令和5年度半田市一般会計補正予算第6号 総務 ：職員給等の増減で、人事院勧告に準拠した給与改定に加え、人事異動や退職者の変動により給与改定するものなど 文教 ：在宅看護の利用が増えたこと等による後期高齢者医療費の増加や、インフルエンザ流行による子ども医療費の増加など 建設 ：戸籍等に振り仮名を記載する事業や中心市街地に建設する半田市創造・連携・実践センターのデザイン業務に関すること
65	令和5年度半田市乙川中部土地区画整理事業特別会計補正予算第2号 (人事異動等により、職員給を補正するものなど)
66	令和5年度半田市JR半田駅前土地区画整理事業特別会計補正予算第1号 (物件移転補償費について、権利者との調整に時間を要したことなどにより繰越しをするものなど)
67	令和5年度半田市国民健康保険事業特別会計補正予算第2号 (1人あたりの医療費が増えたことにより、高額医療費の件数も増加し、当初見込み額が不足したことによるもの)
68	令和5年度半田市介護保険事業特別会計補正予算第3号 (要介護認定の申請件数の増加により、当初見込み額が不足したことによるもの)
69	令和5年度半田市立半田病院事業会計補正予算第1号 (収入では患者一人あたりの診療単価増、支出では薬剤など診療材料費の高騰で、その収支を調整するもの)
70	令和5年度半田市水道事業会計補正予算第1号 (人事異動等により、職員給を補正するものなど)
71	令和5年度半田市下水道事業会計補正予算第1号 (人事異動等により、職員給を補正するものなど)
72	半田市行政手続等における情報通信の技術の利用に関する条例の一部改正について (本人確認が必要な一部の手続きを除き、書面での申請などがオンラインによることを可能とするもの)
76	半田市職員の給与に関する条例の一部改正について (期末・勤勉手当の支給率及び給料表の改定に加え、在宅勤務等手当に関する規定を追加するもの)
77	半田市パートタイム会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正について (正職員の給与改定に基づき、パートタイム職員の給与改定に加え、令和6年度から同職員にも勤勉手当を支給するもの)
78	半田市児童遊園及びちびっこ広場に関する条例の一部改正について (「有楽北ちびっこ広場」の土地所有者に土地を返還することに伴い、廃止するもの)
79	半田市国民健康保険税条例の一部改正について (産前産後期間の保険税を減額する月数及び減額の規定を追加するもの)
80	半田市創造・連携・実践センター条例の制定について (中心市街地の活性化を図るための拠点を設置する条例を制定するもの)
82	新学校給食センター建設管工事(週休2日交代制工事)請負変更契約の締結について (厨房除外処理施設の設置にあたり不足している地耐力を確保すること等によるもの)
83	半田市知多半田駅前再開発ビル駐車場の指定管理者の指定について (クラシティ駐車場の管理について、令和6年4月から令和9年3月末までの3年間、現指定管理者が引き続き行うもの)
84	令和5年度半田市一般会計補正予算第7号 総務 ：市が負担する1億3,557万3千円を、財政調整基金から繰り入れて賄うもの 文教 ：住民税非課税世帯等に一世帯当たり7万円の支給、子育て応援給付金として中学生までの子ども1人につき6千円支給するもの 建設 ：価格高騰の影響を受ける畜産農家に対する飼料購入にかかる補助及び、キャッシュレス決済ポイント還元事業における委託を行うもの
85	半田市手数料条例の一部改正について (戸籍法の改正を受け、戸籍や除籍の内容を電子的に確認できるようにするために発生する、事務手数料の額を定めるもの)

■その他の案件

議案番号等	議案名 ()内は議案の補足説明です。
報告29	専決処分の報告について(工事請負契約の変更)

常任委員会の中間報告について(総務委員会活動報告 ※内容は12ページに掲載)

■賛否の分かれた案件

議案番号等	議案名 ()内は議案の補足説明です。	創造みらい半田										公明党		志民ネット	みんがはんだ	無所属		議決結果						
		沢田清	山本裕介	芳金秀展	鈴木英華	田中嵩久	澤田幸彦	鈴木瑞輝	榊原功治	竹内昭司	渡邊玲子	岩田英之	石川清一	山田美穂	坂井七海	麻生和也	中村義一		小出正興	伊藤秀之	國弘麻由	新美保博	加藤美幸	
73	半田市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例の一部改正について(保険証のマイナンバーカードとの一体化後においても、個人番号を利用して保健情報が確認できるような事務を追加するもの)	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	●	○	○	可決
74	半田市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について(国家公務員の給与改定に基づき、議員報酬の期末手当を0.10月引き上げるもの)	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	●	○	○	可決
75	半田市特別職員の給与に関する条例の一部改正について(国家公務員の給与改定に基づき、特別職員の期末手当を0.10月引き上げるもの)	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	可決
81	地方独立行政法人知多半島総合医療機構第1期中期目標について(地方独立法人法規定に基づき第1期中期目標を定めるもの)	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	可決

表の見方: 議は議長(採決に加わらない)、○は賛成の議員、●は反対の議員、退は退席の議員、欠は欠席の議員



議案74号を含む4議案に対し反対及び2議案に対して賛成討論を行いました。74号は来年の秋に健康保険証の廃止をする事が条例の改正理由であり、マイナンバーカードが取得できない人や誤登録を心配する人が多く存在するため反対します。77号は15・5時間以上の短時間勤務の職員にも勤勉手当が支払われる事を希望し賛成します。

有留麻由議員

議案73号・74号・75号・81号に反対
議案77号・84号に賛成

反対／賛成討論

市民の皆さまの大切な税金を有効に使うために…

令和
5年度

議会事業評価提言 についての回答



令和5年9月に議会事業評価を行い、市へ報告しました。今号では、今後の取組み方と提言に対する市の方針、方向性についてお知らせします。議会から市へ提出した事業評価の内容は、市議会ホームページからご確認ください。




議会事業評価の結果へ


主要事業：リサイクルセンター施設維持管理事業



建設
産業
委員
会

今後の取組み方と提言1	広大な施設をどう活かしていくのか展望を示してください。
市からの回答	ごみ焼却施設を解体し、跡地に家庭からの資源を1か所に集約するストックヤードを建設する予定です。破碎施設等は老朽化のため解体し、跡地にはスポーツ施設など市民にとって有効な活用方法を検討していきます。
今後の取組み方と提言2	市民が更なるごみ減量に取組みやすいように、環境学習施設や資源化施設として、市民活動スペースやSDGsの発信の場などの活用についても検討してください。
市からの回答	環境学習の観点から、資源がどうリサイクルされるのか、また、SDGsの学習ができるよう、図解のパネル等を設置していきます。リサイクルセンターの活用については、「はんだ環境パートナーシップ会議」において、検討していきます。
今後の取組み方と提言3	ごみ減量のための発信拠点として更に整備してください。 ①市民のごみ減量への関心を更に高める取組みを実施してください。 ②フリーマーケット・物々交換などを有効に機能させる場として、民間企業とのタイアップについても検討してください。 ③フードバンク、フードドライブの拠点となるように取組んでください。
市からの回答	①リサイクルの過程等を解説する環境学習講座等を実施し、ごみ減量への関心を高める取組みを進めます。 ②粗大ごみの処分については、「おいくら」というサイトを活用し再利用を推進していきます。(令和5年12月に協定締結) ③現在のところ、リサイクルセンターをフードバンクやフードドライブの拠点として活用していくことは考えていません。

総務委員会	主要事業：広報推進事業		
	今後の取組み方と提言1	市公式ラインアカウント登録者数やSNSのフォロワーを増やすための更なるPRやキャンペーン、イベントなどの企画に取組んでください。	
	市からの回答	公式ラインについては、市報等でのPR、各公共施設窓口、デジタルサポート窓口等での登録案内に努めています。今後は、セグメント配信(ニーズに合った情報配信)に関係する部署と連携して更なるPRを展開し、登録者の増加に取組んでいきます。	
	今後の取組み方と提言2	ホームページやSNSを見る事が出来ない市民、市報に関心のない市民の対応も取組んでください。	
	市からの回答	高齢者等に配慮した広報誌の編集や各種報道機関へのアプローチも実施することでホームページなどを見る事が出来ない方、市報に関心のない方にもメディアを通じて、市の情報等が届くよう情報発信に努めます。	
	今後の取組み方と提言3	市民にとって必要な情報の把握と市が提供しなければならない情報の取り扱いを明確にし、広報の推進に取組んでください。	
市からの回答	市民の皆さんにお伝えしたい行政情報については、市報での特集やピックアップ情報として分かりやすく、見やすく掲載する工夫に努め、内容に応じて、SNSを広報媒体として活用していきます。		

文教厚生委員会	主要事業：いじめ・不登校対策事業		
	今後の取組み方と提言1	スクールソーシャルワーカー(SSW)を早急に増員し、将来的には、5人程度配置してください。	
	市からの回答	SSW1名あたりの標準的な支援件数を80件と想定し、令和4年度の支援対象実績(222件)に対応できるよう、2名増員して合計3人による支援体制の整備を図ります。	
	今後の取組み方と提言2	不登校になる前の兆候を察知し、早期発見で未然防止するために、全ての小中学校において、SSWが福祉の視点でアセスメントを行える体制を整備してください。	
	市からの回答	現在もSSW1名が福祉専門職として、全ての小中学校を対象に各種相談支援にあたっていますが、課題を抱える児童生徒の一人ひとりに対応できている状態ではないため、SSWの増員を図り、支援体制の強化に努めます。	
	今後の取組み方と提言3	SSWは会計年度任用職員ですが、人材確保のため、正規職員とすることも検討してください。	
	市からの回答	正規職員とすることの将来的な検討も含め、勤務内容や勤務条件の改善、働きやすい職場づくりなどを総合的に考え合わせながら取組んでいきます。	
	今後の取組み方と提言4	多様な子どもたちに対応できるよう、SSWへの研修(庁内・庁外)の時間を確保してください。	
市からの回答	福祉専門職としての研鑽に必要な研修会などに参加できるよう配慮します。		



生徒の声

政治って

選挙って

若者の政治参加は、重要な事だと感じた

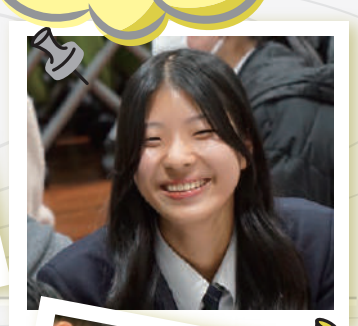
ここまで深く政治について考えたのが初めてだった

若者にとって良い政治改革を行ってほしい

選挙に行くことが必要だと思った

自分の生活に関わっている選挙の重要さを知った

私たちの身近な選挙にも政治に参加する方法だとわかった

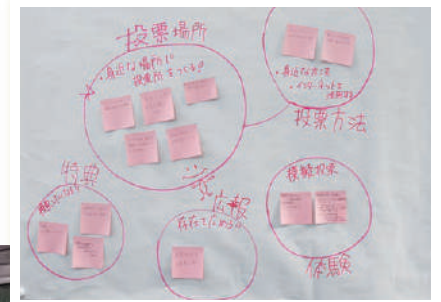
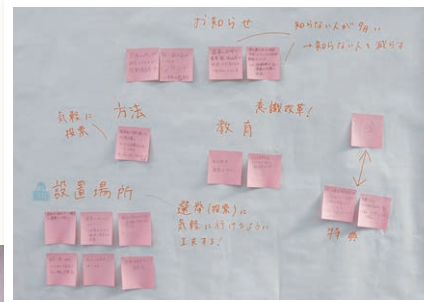
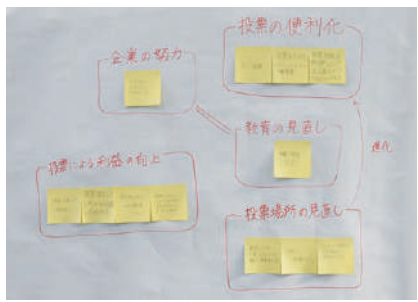


開かれた議会へ!

市議会と半田高校生との交流会
～そこまで話して委員会～



10代をはじめ、若者世代の投票率が低迷している現状から、これから選挙権を得る高校生に対して、政治や議会への興味関心をもっといただきたいと考え開催しました。
生徒が6グループに分かれ、初当選議員6名が各グループを担当しディスカッションしました。



若者が投票しやすい環境づくりは?

コンビニで投票できるようにする
会社や大学で投票できるようにする

- ◎ スマホで投票、インターネット投票できるようにする
- ◎ 駅やショッピングモールなどに投票所を設ける
- ◎ 候補者の日頃の働きが視覚で見えるようにする
- ◎ 選挙ポスターを動画にする
- ◎ SNSを有効活用して公約などを映像で説明しわかりやすいように伝える
- ◎ 立候補者が若者が使うアプリでPRすることを義務化

〈一部抜粋〉

総務委員会 活動報告 (要旨)

調査テーマ

「安全で安心できる住みよい街づくり」

近年、子どもや女性
が被害者となる犯罪や
高齢者を狙ったオレオ
レ詐欺を始めとする特
殊詐欺の刑法犯の被害
は全国的に後を絶た
ず、身近なところでは
自転車、盗難や侵入強
盗、車上ねらいなどの
被害が相次いでいるこ
とが報告されています。
また、地域社会や生活
様式が大きく変わった
ことにより、情報化が
進展した一方で家族や
地域の絆が弱くなり近
隣との日常的な付き合
いの場や機会が少なく
なっています。こうし
た人と人との繋がりの
希薄化は、周囲に対
しての無関心や不審者
にも気づかない、見て
見ぬふりをするなど
の行動につながり、地
域社会の防犯力の低下
が懸念されています。

市民の皆さんが犯罪に巻き込まれることがなく、誰もが安全で安心して暮らせることが求められる中、委員会で協議し、地域の防犯力強化の取り組みを中心に調査研究することになりました。

初めに、実態把握のため半田警察署生活安全課長から本市の犯罪の現状と課題について説明を受けた後、先進的な取り組みを行っている兵庫県伊丹市、大阪府岸和田市、広島県福山市を視察し調査してきました。

その後の委員会では防犯カメラの設置は、犯罪抑止に繋がる。本市にあつた設備を検討していく必要がある。防犯機能付き電話の購入補助は、一定程度効果が見込まれるので補助制度を設けるべきである。ボランティアパトロールは、市民に周知し、リーダーとなる人材を各地域で増やすことが重要である等の意見があり、これらを踏まえ以下のとおり提言

しました。

一、地域社会の防犯力の向上にむけ、地域や警察、各種団体等と連携し、市民一人ひとりの防犯意識の醸成に繋がる啓発を推進すること。

一、防犯カメラの設置の際には、地域の意見を聞くとともに、必要とする台数を把握して計画的に設置すること。

一、位置情報を感じするビーコンを活用したアプリなど民間事業者が開発しているサービスについて研究し、本市に適した設備の導入を検討すること。

一、特殊詐欺による被害の未然防止として、迷惑電話防止機能付き電話機を活用した制度の導入について検討すること。

一、日常生活の中に防犯の視点を取り入れて行う防犯ボランティアの仕組みを研究し、警察とともに検討すること。

今後の本会議 の開催予定

3月定例会

令和6年
2月20日(火)
～3月25日(月)

※会期中の日程は2月16日(金)の議会運営委員会決定します。



議会本会議の
予定へ

みなさんからのご意見を募集します

■期間2月6日(火)～26日(月)

「半田市議会議員の議員報酬等の特例に関する条例(案)」の制定を予定しています。条例(案)等の閲覧・意見の提出方法は、市議会ホームページ、下記の場所でご確認ください。



半田市議会へ

意見書 投函箱等 設置場所

公民館(有協・亀崎・乙川・上池・岩滑・板山・成岩・神戸)
瀧上工業雁宿ホール、市民交流センター、図書館・博物館
乙川交流センターニコパル、半田市議会事務局(市役所5階)

あとがき

春が訪れる頃となりました。先日家族で市内のいちご農家さんに伺い、いちご狩りに行ってきました！甘酸っぱくて、大きいいちごにミルクをたっぷりかけて、美味しかったです！

さて、今回は昨年の12月定例会の模様や、半田高校の生徒との交流会を特集として組みました。生徒たちの白熱した表情や会場の熱をお届けしたくて、表紙レイアウトやページレイアウトを工夫しました。選挙権が18歳に引き下げられ久しいですが、決して高くない投票率、生徒と一緒に考えてみました！
(芳金)

広報委員会

委員長 山田 清一
副委員長 小出 義一
委員 有留 麻田/芳金 秀展
鈴木 幸彦/渡邊 昭司

編集・発行 半田市議会

〒475-8666
半田市東洋町2-1
☎0569-844-0694
FAX 0569-247-185
E-mail: gjj@city.handa.lg.jp



半田市議会へ
QRコードは簡
ソウウェブの登
録商標です。